

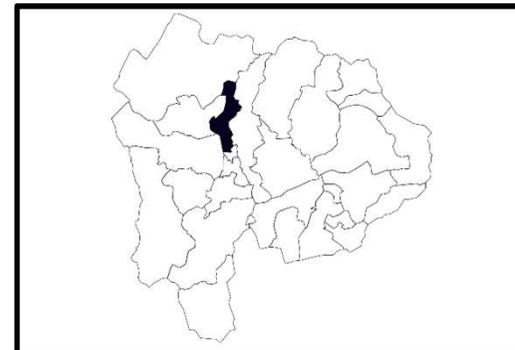
# 事業評価構想図(案)

令和6年度 甲斐市地域公共交通会議 (山梨県甲斐市)  
(地域公共交通計画策定事業)

## 公共交通の概況・地域の特徴

甲斐市は県北西部に位置し、南部は住宅地と農地が混在する平坦な市街化地域、北部は森林資源や自然環境を有している。人口76,548人で、県庁所在地である甲府市のベッドタウンとしての機能も有することから人口が増加している県内でも数少ない自治体の一つである。

公共交通ネットワークは、鉄道、路線バス、市民バス、タクシーで形成されており、JR中央線が市南部を南東から北西方面を貫き、2つの駅(竜王駅・塩崎駅)を中心にバス路線網が整備されている。路線バスは東西に横断する形で27系統が運行し、それを補完する市民バスが6系統8路線運行しており、4社のタクシー会社の事業所が立地してる。



## 地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

路線バス利用者はコロナ禍以降回復傾向にあるが、担い手不足や減収の影響から経営環境は依然として厳しく、路線を維持し地域住民の移動を確保する目的で毎年多額の補助金(約1,000万円)を交通事業者に交付している。

市民バスも利用者数及び経営環境で同様の傾向が見られる中、路線廃止を検討する運行継続基準(年間平均乗車人数が2年連続で基準値を1人以上下回った場合)を2路線で下回っており、事業性と利便性の問題を抱えている。

AIオンデマンド交通や自動運転など新たなモビリティの実装に向けて実証実験を重ねる中、地域公共交通の役割を明確にし、新たな技術を活用した効果的で効率的な地域公共交通ネットワークの構築を関係者と共創するため、地域公共交通計画の策定が必要となる。

面積	71.95km <sup>2</sup>
人口 (R6.4.1時点)	76,548人
15歳未満	10,056人
65歳以上	20,256人
高齢化率	26.4%

## アピールポイント

### ①AIオンデマンド交通や自動運転など、新たなモビリティの実装を見据えた計画

AIオンデマンド交通については、令和4年度から合計4回の実証実験に継続的に取り組み、運行地域や利用方法の検討を重ね、また、AIオンデマンド交通の認知度や受容性について市民の理解も一定数得られていることから、実装がより現実的であり、実装を見据える地域やスケジュールについて具体的に記載された計画となっている。

自動運転については、経営面・技術面・社会受容性の観点から、実装に向けた実証実験を令和5年度から継続的に取り組んでいることから、優先的に実装する地域とスケジュールが計画に記載されている。また、自動運転の効果を交通分野だけにとどめることなく、医療・教育・商業等の他分野と連携・協働により最大限に波及させるため、事業者・市民との連携についても記載されている。

### ②実行性が高く、成功を積み重ねることができる着実な計画

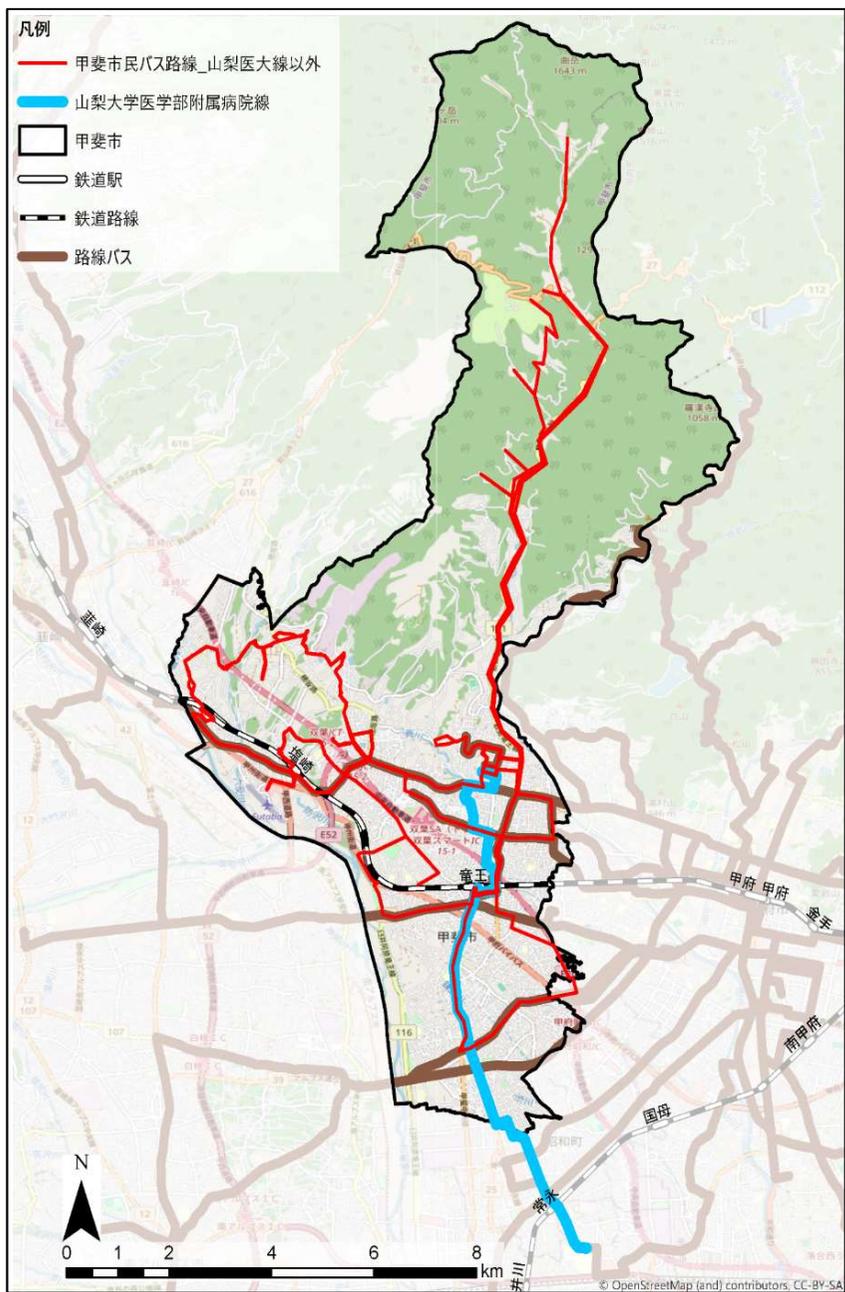
①利便性の高い公共交通サービスの提供、②持続可能な公共交通体系の実現、③交通事業者・行政・市民が一体となった実施体制の構築という抽象的な3つの目標を掲げているが、目標達成に向けた実施スケジュールについては、「検討」のみとせず、実証的に実施する「検討・実施」や「実施」とすることで実行性を持たせている。また、目標達成の状況の評価する指標については、着実に達成可能な数値目標を設定し、計画に基づき事業に取り組むことで、成功を積み重ねることができる着実な計画としている。

## 交通会議開催状況

- 令和6年度の開催状況(予定含む)
- ・第7回(令和6年4月23日)  
公共交通の現状及び課題について
  - ・第8回(令和6年6月26日)  
アンケート調査について
  - ・第9回(令和6年9月4日)  
アンケート調査結果について
  - ・第10回(令和6年10月31日)  
公共交通ワークショップについて
  - ・第11回(令和7年1月14日)  
計画素案について
  - ・第12回(令和7年3月〇日)  
計画(案)について

○参考資料として以下の資料を添付

・地域の交通体系図



・甲斐市地域公共交通計画概要版 ※現在作成中

概要版は現在作成中  
完成後に添付